適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	2		「アセスメントツール」とは何か具体的に共有できていなかったので、研修の場で紹介した。	今後も研修などで、児発菅から紹介し、全員で共有しながら進める。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1		職員会議で、他の職員も一緒に、プログラム・課題を相談しながら進めている。	現状の取り組みを継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	12			児発管が支援計画に基づきスムーズに行っているが、お任せ的になっており、地域・域保護者等との関係が、よくわからない。	定期的な会議及び研修で、計画書の作成進捗や内容の共有・議論を図っているが、非常勤職員が多いため、そのような取り組みをさらに増やしていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	1		きちんと役割・分担等の報告はもらっている。	